学校番号	317

平成 31 年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	高校硬筆の練習　（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いなどを学びましょう。
・漢字の書から入り楷書・行書、漢字仮名交じりの書、仮名の書とさまざまな書を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。
・古い時代に書かれた古典のよさに触れ、自分もそれを追体験し表現できる力を身につけましょう。臨書による、書表現を探求することを目指します。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、暮らしに書を生かし、書を愛好する心情を育てます。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表現している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品 ・鑑賞会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写から書道へ	・筆と墨の性能を知る ・起筆の角度と線質 ・筆の性能を理解しながら、さまざまな線質表現を学ぶ	○	○	○	○ ○	a:用具・用材と表現との関係に関心をもち、意欲的、主体的な表現に取り組もうとしている。 b:用具用材によって線質や表現が変わることを理解し表現を工夫している。 c:姿勢や執筆法の基本を身に付け表現している d:書写と書道の類似点・相違点に気づきさまざまな書のよさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品
	漢字の書(楷書)	・楷書の基本 永字八法による 基本用筆 ・九成宮禮泉銘臨書 姿名を九成宮風に書く ・牛橛造像記臨書 姿名を牛橛風に書く	○	○ ○	○ ○	○	a:表現技法の基礎基本を身に付け、古典の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。 b:漢字の書の美と古典の特徴、その技法を学び、普遍性のある表現を工夫している c:漢字の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆を理解し、創造的な表現を身につけ表している。 d:漢字の書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品 ・ワークシート
2学期	硬筆の楷書	・硬筆(ペン字テキスト) 夏休み中の課題			○		c:身につけた基礎的な技能を生かして表現している。	・提出作品
	創作うちわと簡易篆刻	・漢字創作でうちわ両面に作品を仕上げる。 ・発砲スチロールで印を作る。 ・文化祭に全作品展示 ・相互批評会	○	○	○	○ ○	a:漢字の書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。 b:感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c: 創造的な表現をするために、字形の構成や全体の構成の要素を理解している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品 ・鑑賞会

2学期	漢字の書（行書）	・行書の特徴と基本用筆 ・蘭亭序半紙臨書 ・書道コンクール出品 ・蘭亭序半切２行作品	○ ○	○	○	○	a:古典の美とその技法に関心をもち、表現技法を高めようとしている。 b:古典の持つ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。 c:創造的な書表現をするために、線質、字形、全体の構成などの表現の技能を身につけ表現している。 d:古典の特徴を把握し、そのよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品 ・ワークシート
	仮名の書の基本	・仮名の成立 ・仮名の用具用材 ・仮名の基本用筆 ・単体・連綿・変体仮名 ・仮名表現を生かした年賀状	○	○ ○	○	○	a:仮名の成立と基本的な用具用材に関する知識や扱い方を理解しようとしている。 b:用具用材によって線質や表現が変わることを理解し、表現を工夫している。 c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し表している。 d:仮名文字のよさとその繊細な美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品
3学期	仮名の書の創作	小倉百人一首仮名創作 ・単体創作 ・連綿創作 ・変体仮名を利用した創作 ・散らし書き ・サイズを縮小してかるた形式まで ・創作カレンダー仕上げ ・カレンダー鑑賞会	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:自らの感性や意図に基づいて、単体連綿や全体の構成を工夫しようとしている。 b:連綿散らしなど日本の伝統的な書の美を感受し、表現を工夫している。 c:運筆のリズムや筆脈を通して、仮名の美の特質を理解し、その技法を身につけ表している。 d:仮名の成立を理解し、仮名のよさと美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・提出作品 ・鑑賞会 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現への構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。